

社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人 周防大島町社会福祉協議会
第三者評価日	平成21年2月5日（木）
現時点の社協力	<p>（第三者評価者の視点）「社協の現在の姿の一部」</p> <p>これまでの実践において、各地域の特性を重視し積み重ねてきたことは、一定の評価ができ、とりわけ各地域で開催している座談会は、他の市町社協でも共有していきたい点である。</p> <p>各地域の実態に即した活動を展開するため、旧町を地域福祉活動の拠点として、現業職員3名を配置し、住民に身近な場所でニーズや課題に応じていく仕組みを維持し、活動を推進している。</p>
	<p>（周防大島町社協側の視点）「強み：PRポイント」</p> <p>専門職を4地域に配置し、広く住民の声が聞ける組織体制により、住民と協働しながら、地域の実情に沿ったサービスを展開している。</p>
3年後にめざす社協像	住民から必要とされる「身近な社協」
社協力向上経過レポート	<p>（平成21年度）</p> <p>地域福祉部門及び在宅福祉部門の統括を一本化し、情報の共有が出来る風通しの良い組織を目指した。</p> <p>社協全体の経営について、全職員が統一した意識がもてるようになり、事業所管理者も率先して、経営に参画するようになった。</p>
	<p>（平成22年度）</p> <p>組織再編成後、地域福祉活動部門の自立を図るため、年度目標、活動方針をそれぞれで検討した。事業部関係は、日々の目標管理ができるため、実績向上に取り組みやすかった。</p>
	<p>（平成23年度）</p>